

TOPICS

遠隔状態監視システムの開発を支援

ーIoT機器開発の技術支援例ー

電子情報部 米沢裕司 (よねざわ ゆうじ)

yoneyuji@irii.jp

専門：ソフトウェア、信号処理

一言：新技術・新製品の開発をぜひ一緒に



産業機械などの設計・開発を行っている(有)ジータ(小松市)では、産業機械などに取り付けた各種センサに接続する「遠隔状態監視システム」とよばれる機器の開発に取り組んでいます。これはIoT機器の一種であり、本機に接続されたセンサのデータに異常があった場合に、異常発生を表示するとともに、登録されたアドレスあてに電子メールを自動送付するなどの機能を備えています。

この機器の開発に際して、さまざまなセンサに対応できるようにしたいとのご相談が寄せられ、技術支援を行いました。具体的には、デジタル信号を出力するセンサとアナログ信号を出力するセンサのいずれにも対応できるよ

う、装置に内蔵する電子回路基板の設計方法を助言し、漏液検知などのデジタルセンサとガス濃度測定などのアナログセンサの両方に対応できるようになりました。

また、開発した装置の動作確認中に、センサからのデータを正常に受信できず画面表示などができなくなる場合があります。そこで、本機の制御ソフトウェアの改良方法を助言し、安定的に画面表示できるようになりました。

工業試験場では昨年よりIoT技術の活用を推進するためにIoT相談窓口を設置し、このような県内企業における関連技術の開発等を支援しています。お困りごとがありましたら、IoT相談窓口(E-mail:iot@irii.jp)まで、お気軽にご相談ください。



□ 遠隔状態監視システムの外観